

■ 垣 堀 の 中 に

脚色監督者 帝キネ声屋映畫
撮影者 伊藤大輔氏
川上勇喜氏

—— 主要役割 ——

支那人揚庸 松本 泰輔氏
ホテル主人赤松尚藏 高堂 國典氏
その娘 春子 瀨川 つる子嬢
揚庸友人青山欣一 五味 國男氏
南京の支(阪上源次) 濱田 格氏
支那服の日本人刑事 根津 新氏
揚庸の妹貴香 柳 まさ子嬢

解説——伊藤大輔氏が監督としての第二回作
品で、素晴らしい活劇である。港に相當なホテル
略筋——船の出入繁き或る港に相當なホテル
を営む赤松尚藏は無頼漢南京の支に或弱點を握
らぬ娘春子に支が無頼に言寄るのを見流して
居なければならなかつた。民國の外交官揚庸は
公用の爲此港を過ぎる度に此ホテルに宿泊した
が何時か春子と相思の仲となつた。支は其れを
悟つて揚庸と春子を嫉妬の念から幾度も危険に
陥れたが、其都度揚の友人俠男子青山欣一の爲
に二人は助けられて居た。金錢の外餘念のない
尚藏はそうした娘の身邊の出来事を唯拱手傍觀
して居た。尚藏の弱點、それはホテルの地下室
に亞片窟を持つ事であつたが、やがて青山の知
る所となり其跡へに依つて警察官の盡力で無頼
の徒の巢窟は一掃され、忿怒な尚藏は支の爲に
殺され支は其筋の手に捕へられた。春子と揚庸
青山と揚の妹貴香とは各々乘れてから相思の間
柄であつたが、斯くて美しい情愛に生きる幸福
な生活に入る事が出来た。

一に 中 の 垣 堀 ——
(品作氏輔大藤伊屋芦キ帝)

